

株式会社黒木鉄工所				業種	製造業
				事業所所在地	宮崎県東臼杵郡
被承継者		承継者			
黒木鉄工所		株式会社黒木鉄工所			
事業承継時年齢		70歳			
業種	製造業	資本金			
事業所所在地	宮崎県東臼杵郡	従業員数	6名		
事業承継前の主たる事業内容					
産業機械部品製造。 旋盤、フライス盤、ボール盤などの切削機械を利用して、金属、ステンレス、樹脂などを削り、部品を加工。		産業機械部品製造。 旋盤、フライス盤、ボール盤などの切削機械を利用して、金属、ステンレス、樹脂などを削り、部品を加工。BtoB向け県内最大級の大型NC旋盤を導入。			
被承継者と承継者の関係		子ども			

事業承継の経緯

事業承継の検討を開始した時期：2015年 8月

被承継者	承継前の事業課題	承継者
負債をどうするのか		①取引先の少なさと縮小 ②従業員の高齢化
①他の検討はしませんでした ②流れのままに	事業課題解決のために、 ①他に検討した手法は？ ②なぜ事業承継を選じたか？	①他の検討はしませんでした ②まだ社会的に伸ばすことが可能と感じたため
特に無し	相手先との交渉開始のきっかけ	特に無し
任せました	課題と克服 ①財務	税理士の先生達と相談しアドバイスを受けました
取引先が少ない為問題はないです	課題と克服 ②取引先との調整	取引先の方々には知っているのも何も問題はありません
特に無し	課題と克服 ③社内調整	数年間は一緒に働いているので関係性は問題ありません
任せました	課題と克服 ④諸手続き	税理士、司法書士の先生にお手伝いいただき手続きをしました

事業承継を行った時期：2018年 6月

事業承継の形態	事業承継 成立の決め手になったのは？	
■ 事業譲渡	被承継者	承継者
	個人事業における廃業を伴う、個人事業主から法人への事業譲渡による承継。	自分も歳をとり、流れを考えての事業承継となります

新たな取組の標題

お客様と一体となった産業機械づくりとメンテナンス

新たな取組の内容

- 設計、製缶、機械加工が可能な会社づくりをし、お客様と一緒に産業機械製作やメンテナンスをしていく考えです。
- 今までは産業機械部品製作しかしていませんでした。今まで培ってきた機械技術を使い、設計、製缶をプラスしてよりよいものづくりをしていきます。
- お客様の声を聞いていくと「故障したときに修理出来なくて困る」、「メンテナンスがよく分からない」など産業機械のことを知らない方が多くいることに気がつきました。それならお客様と一緒に使いやすく、メンテナンスが楽な産業機械を製作出来ないかと考えております。



地域経済やバリューチェーンへの貢献

一次産業、二次産業とどちらでも活躍できる状態です。地方は一次と二次産業が密接な関係なので一次産業が止まると二次産業も止まります。私たちは、一次産業、二次産業どちらにも対応しているので問題が起こっても流れを最小に食い止めることができます。

補助対象経費の内訳

- 設備費

経費の主な使い道

設備費
(工場増築工事費、照明機器、溶接機、ホイス導入費)

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容

- 制度内容の理解 事業計画の立案 各種提出書類の作成 補助事業の実施

補助事業を進めるうえで書類が必要になりますが、私の場合は書類作りが苦手です。そのときに書類をどのように製作すればよいか相談しています。

今後に向けて～次の目標

2018年から2021年に向けて	機械部品の改善がとても好評だったため、部品だけではなく架台など機械全体的に改善していきたいです。メンテナンスで勉強させていただき、お客様が使いやすく、メンテナンスしやすい機械づくりをしていきたいです。
売上高	150 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
自分が造り育てた会社が続くということはとてもうれしい事です。	事業承継にはメリット、デメリットが沢山あります。デメリットはひとつずつ潰していって、メリットは伸ばしていってほしいです。人、お金、技術ときちんと向き合い進めることをお勧めします。